

ガーデンシティふかや推進室[ふかや緑の王国・深谷市榎引24-2(花植木流通センター隣)] ☎551-5551
花を愛し、人を愛し、地域を愛するまちづくり!!

ふかやフラワーウィーク Fukaya Flower Week 2022

2022.4/18-24日

会場 深谷市役所本庁舎
深谷グリーンパーク

4/23・24日
ふかやオープンガーデン開催

36軒のお庭がオープン!

詳しくはホームページをご覧ください。

ガーデンシティ FUKAYA

おいでよふかやに

各会場のご案内

ふかや緑の王国 午前9時～午後6時

ガーデニングコンテスト作品展示

お気に入りの作品に投票したかたに、抽選で深谷のユリをプレゼント!

来場者投票 4月18日(月)～24日(日)



花の種&ミニ缶バッジプレゼント

来場者に花の種と、「しげたくん」・「重忠様」のミニ缶バッジをプレゼント! 管理事務所までお越しください。(数量限定)



モデルガーデン展示

市内アダプト団体による趣向を凝らしたガーデンをお楽しみいただけます。

ガーデニング教室参加者募集 定員 各先着12人

申し込み 4月6日(水)午前8時30分から電話でふかや緑の王国(☎551-5551)へ(1回の申し込みで2人まで)

①多肉植物の寄せ植え教室

とき 4月19日(水)午前10時～正午

参加料 2,000円

講師 ラ・パンセ(グリーンアドバイザー)



②初夏の草花を使った寄せ植え教室

とき 4月22日(土)午前10時～正午

参加料 2,000円

講師 星野学氏(テクノ・ホルティ園芸専門学校講師) ※写真はイメージ



日本ハンギングバスケット協会埼玉支部主催教室

ハンギングマスターが直接作り方を丁寧に指導します。

20日(水) ①午前10時～ハンギングバスケット教室(平田氏)

②午後1時30分～コンテナガーデン教室(八木原氏)

23日(土) ③午前10時～ハンギングバスケット教室(平田氏)

④午後1時30分～寄せ植えリース教室(中島氏)

定員 各先着12人

参加料 ①③④3,500円、②3,000円

申し込み 4月11日(月)午前10時から電話

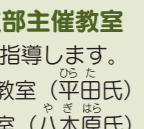
またはショートメッセージサービス(SMS)

で各講師へ(SMSは返信にて参加の可否

をお知らせします)

①③④090-6319-5679(平田氏)、②090-1655-2390

(八木原氏)、④090-8893-2803(中島氏)



深谷グリーンパーク 午前8時30分～午後9時

4月19日(水)は午前9時～午後5時

問い合わせ 深谷グリーンパーク・パティオ

〒366-0816深谷市榎合763 ☎574-5000

フラワーガーデン展示

(株)日比谷花壇が深谷の花を中心に装飾を行います。

フラワーレッスン参加者募集

申し込み 4月6日(水)午前11時から電話で問い合わせ先へ

フラワーリースボードづくり

とき 4月21日(水)①午前10時～11時30分

②午後1時～2時30分

定員 各先着12人 参加料 2,500円

講師 善本由紀氏(株)日比谷花壇



※写真はイメージ

チューリップの球根掘り取り体験

1人球根30球までお持ち帰りできます!

とき 4月23日(土)午前9時～正午 20分ごとに入場・入れ替わり

制(全9回) ※悪天候の場合は30日(日)に順延

定員 各回先着100人(計900人) 参加料 無料

申し込み 往復はがきで4月14日(水)までに問い合わせ先へ【必要

事項】名前・住所・電話番号・参加人数・希望の時間帯(第1～3希

望まで) ※詳細は問い合わせ先のホームページをご覧ください。

深谷市役所本庁舎 午前8時30分～午後9時

フラワーガーデン展示

深谷市花き生産組合連合会が深谷の花を

中心に装飾を行います。



※写真はイメージ

動画によるPR

展示スペースにあるモニターにオープンガーデンの動画を流

します。今年公開しないお庭も含めて紹介します。

同時開催イベント 『農業王国ふかやマルシェ&コリドーカフェ』

5日間、日替わりで市内の農畜産物や銘品が楽しめます。

商品を購入したかたに、花の種をプレゼント!(数量限定)

とき 4月18日(月)～22日(金) 午前10時～午後2時

ところ 市役所本庁舎レンガコリドーおよびピロティ

オンライン配信

各施設の花の装飾やオープンガーデン

花仲間との映像をツイッター、

YouTubeでオンライン配信

※6月頃まで配信



ツイッター
(カワセミくん)



YouTube
(Fukaya City)



ボランティア団体を紹介します

深谷手話サークル ねぎの会



▲クリスマス会では、「赤鼻のトナカイ」を手話を使って歌いました



▲福祉健康まつりでやっているミニ手話教室

当会は昭和51年に創立し、今年で46周年を迎えます。この間、深谷市聴覚障害福祉協会と共に聴覚障害者の福祉向上を目指してさまざまな活動をしてきました。平成10年度に開始した「深谷市手話通訳派遣事業」は、聴覚障害者のコミュニケーション保障と情報保障を図り、医療・教育・就労などの場面で聴覚障害者の主体性を守っています。

そして昨年度に施行された「深谷市手話言語条例」と「深谷市障害者の特性に応じたコミュニケーション手段の確保の促進に関する条例」により、市民の皆さんに聴覚障害や手話を正しく理解していただき、どこでも誰でも手話で会話ができる深谷市を目指しています。

現在は例会での手話学習のほか、保育園や小・中・高校でも手話教室を実施しており、今後は市や関係団体と協力して市民向け手話教室を開催していきたいと考えています。

手話に興味があるかた、手話を覚えたいかた、手話通訳者を目指しているかたなど、いつでも見学に来てください。初心者大歓迎です!

【例会】 とき:昼の部 毎週月曜日午前10時～、夜の部 毎週火曜日午後7時～ ところ:深谷市ボランティア交流センター

障害福祉課(☎571-1011、☎574-6667)、社会福祉協議会(☎573-6563、☎573-0806)

畠山重忠を知る

木曾(源)義仲との戦い



武蔵武士の鑑

畠山重忠

治承4年(1184年)、木曾義仲も平氏打倒のため挙兵します。平氏方に加わっていた畠山重忠の父重能は、義仲が水位の確認のために渡した馬を見て、義仲軍の襲来をいち早く察知して自ら先陣を務めるなど奮戦したものの、やがて平氏から離れた。義仲は平氏を討ち、京から退去させて入京します。しかし、義仲はしきたりや作法に疎く、その軍も統制が行き届かず乱暴狼藉が目につきました。後白河法皇は源頼朝に救いを求めたため、源頼朝・義経を大将とする軍が京へ向かうこととなり、重忠はこれに従軍します。

義仲と頼朝勢が戦った、寿永3年(1184年)の宇治川の戦いで、重忠は渡河の際に愛馬の鬼栗毛が射られたので前足を支えて歩いて渡り切ったと伝わり、後の一の谷の戦いにおける馬扱ぎが良く知られていますが、ここでも馬を労り担いでいたのです。更に大串重親という武士が流れてきたので、重忠はこれを助け、力を発揮して重親を岸に投げ上げました。

重親は「宇治川に一番に入つたのは畠山である。向こう岸についたのは大串が先である」と名乗りを上げ、敵も味方もどつと笑ったとされます。恩賞にながら功名手柄の証人をつくるために、この名乗りはとも重要なことなので、東国武士にとっては必死でした。重親は重忠の烏帽子子で、重忠から「重」の一字をもらっています。烏帽子親とは、元服の際に烏帽子をかぶせる役で、烏帽子子の保護者でもありました。

また、義仲の愛妾・巴御前と重忠が一騎討ちをした際、馬がすれ違った瞬間に巴御前の鎧の袖を引きちぎった話もあります。これも重忠の力を物語るエピソードでしょう。